

## 献辞

樺島正法先生は、二〇一三年三月三十一日をもって神戸学院大学をご定年で退職されました。

樺島先生は、京都大学法学部在学中に司法試験に合格され、大学卒業とともに司法研修所に入所されました。司法修習を経て大阪弁護士会に入会された後は、弁護士としてさまざまな分野でご活躍され、そのような弁護士として経験を生かして本学法科大学院にはその設立と同時に民事訴訟実務科目担当の専任教授として着任されました。

実務と理論の架橋を目指した法科大学院制度にとっては、民事訴訟実務科目は中核をなす科目の一つであり、先生の講義は、その明晰さにおいて学生からの信頼が厚く、更に、講義時間以外の時間を使つての熱心な指導により信望をおおいに得ました。

また、法科大学院研究科委員会においても、私たち研究者教員とは違った視点から教育・研究についても様々な貴重な意見を頂き、同時に、研究科委員会の構成員として積極的に種々の業務にもかかわっていただきました。私たち研究者教員も教育・研究に対して常に大きな刺激をうけてきました。

樺島先生におかれましては、いろいろな機会を通じてこれまで同様ご指導いただきますようお願いいたします。今後の先生のご健勝と益々のご活躍を祈念し、謹んで本号を献呈させていただきます。

二〇一四年三月

大学院実務法学研究科長 田中康博